

学生による授業評価集計（応用数理 C）

集計人数 102, 受講者人数 153

アンケート実施日 2012, 8. 1（試験中）

評価項目, 評点（5 点満点）, 偏差値

- (1) シラバスの記載内容は参考になった, 3.20, 0.93
- (2) 講師は十分な準備と工夫をして授業に臨んでいた, 3.04, 1.08
- (3) 講師の話し方は理解しやすかった, 2.63, 1.13
- (4) 講師や TA は学生の質問に丁寧に回答してくれた, 3.46, 0.88
- (5) 講師は学生に授業への積極的な取り組み・参加を促した, 3.37, 0.97
- (6) この授業の内容を理解した, 2.49, 1.06
- (7) 受講してみて、この科目や関連分野への理解や興味が増した, 2.75, 1.12
- (8) この授業を受講して自分自身の将来に役立つと思う, 2.98, 1.09

良かったと評価された点：毎回のレポート (8)

改善を要求された点：聞き取りにくい(8), 授業・演習・教科書・試験が難しい(12), 演習の解説が欲しい(4), 動機づけが欲しい(2), 黒板の字が読みにくい(3), 教室が騒がしい(1), レポート作成時間が短い(1)

分析と改善点

小人数（15 名）の基礎数理 C から一挙に受講者多数の大教室授業となり、不慣れな点がありました。授業内容は教科書に即しましたが、試験をしてみるとモデリングができるための基礎的な座標の使い方（ベクトル・スカラー、直交座標・極座標）が自分のものになっていない学生が大半でした。大人数で TA の手も行き届かないので、動機づけと理解度を深めるため、来年度は 30 分で前回のレポート問題の解説、30 分で教科書の一節の半分の解説、30 分でレポート作成といった構成にしたいと思います。